



Race Report

29 April - 01 May 2011 / SUPER GT SERIES Round_2 FUJI SPEED WAY



「がんばろう！日本」
11' SUPER GT SERIES いよいよ開幕！！

【Result】

04.29 Free Practice 1 : 6 th
04.29 Free Practice 2 : 10 th
04.30 Free Practice 3 : 4 th (1'43"757)
04.30 Qualify Session : 4 th (1'43"654)
04.30 Super Lap : 3 rd (1'43"331)

05.01 Free Practice 4 : 2 nd (1'53"723)

Starting Grid : 3 rd
Final : DNF (0 pt)

【習熟走行】 2011.04.29 (Fri)



11'スーパーGTシリーズ、いよいよ開幕！

3月11日に起きた東日本大震災の影響から事実上の2011年開幕戦となった 2011 AUTOBACS SUPER GT 第2戦 FUJI GT400km RACE。ここまでチームやメーカーの絆を超えて一致団結し、復興支援、チャリティー活動等に尽力してきたドライバーやその他関係者は、東日本大震災復興チャリティーとして今回のレースに銘打たれた「がんばろう！日本」というスローガンの下、共通の思いを抱きこのレースへと挑む事となった。

迎えたレースウィーク金曜日。通常であれば土曜日からの走行となるスーパーGTシリーズであるが、今回のレースでは、この開幕までの事前テストの機会が例年に比べ極端に少なかった事が考慮され習熟走行枠が設けられる事となった。各陣営にとって翌日からの予選、決勝に向け少しでもマシンの仕上がりを高める為の貴重な時間となったこのセッション。当然それはASPEEDにとっても例外ではなく、セッション開始早々から時間を惜しむように走行を開始する。

気温17℃、コースコンディションはドライ。ここでまずステアリングを握りコースへと出たのは吉本大樹。その吉本はまずマシン各部のチェックを行うと、その後徐々にペースアップ。マシンのフィーリングを確認しながら走行を重ねていく。さらにその後は今年からパートナーとなった昨年のGT300クラスチャンピオン、星野一樹選手と交代を繰り返しながらマシンのセットを煮詰めていくと、最終的に午前セッションは6番手、午後のセッションでは10番手に着け、「タイム的には平凡なタイムだったけど、明日以降に向けて手応えは掴めた」というコメントを残しこの日の走行を終える事となった。

11' SUPER GT SERIES Round_2 / FSW
2011.04.29 (Fri) Free Practice
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED



Race Report

06 May 2011 / SUPER GT SERIES Round_2 FUJI SPEED WAY



triple a Vantage GT2、好スタート！
スーパーラップ進出 & 決勝3番グリッドを獲得！！

【公式予選】 2011.04.30 (Sta)

triple a vantage GT2 が好スタート！
予選3番手を獲得！！

■予選1回目 【天候】 晴 【コース】 ドライ 【気温/路面温度】 開始時17℃/22℃ 終了時16℃/20℃
■SL 【天候】 晴 【コース】 ドライ 【気温/路面温度】 開始時16℃/19℃ 終了時15℃/18℃

金曜日の習熟走行から一夜明け土曜日の予選1回目開始は13時15分。まずはGT500、GT300の両クラス混走が25分間行われ、その後、各クラス専用の走行が10分間ずつ行なわれる。さらにこのセッションでの各クラス上位10台はスーパーラップ(SL)に進出。そのSLで1台ずつタイムアタックを行いタイムが速かった順にグリッドが決定。11番手以降のグリッドは予選1回目の結果が反映される事となる。

前日同様のドライコンディションに恵まれた朝の公式練習では1'43"757というタイムで4番手に着け、「新しいセットを試みて状況も良くなった」というコメントからも予選での上位進出が期待されたtriple a Vantage GT2。その期待を背にまずマシンに乗り込んだのは星野選手。この公式予選一回目もコースコンディションはドライ。するとその星野選手は限られた時間の中で危なげなくターゲットタイムをクリアしピットイン、吉本大樹とドライバーチェンジを行う。さらにステアリングを受けた吉本大樹は各セクターでますますのタイムを刻んでいくと、このセッションでは1'43"653を記録。triple a Vantage GT2はこれで4番手のポジションを確保してセッションを終了、まずは確実にSL進出を決めて見せる。

その後注目のSLが始まったのは15時33分から。コースコンディションは変わらずドライコンディションながら、上空は予選1回目よりも雲が厚くなり、気温も16度、路面温度も18度まで低下する。このSLでtriple a Vantage GT2のステアリングを握ったのは吉本大樹。その吉本は「今回のタイヤはもっと気温が高い事を想定していたタイヤでウォームアップに時間がかかってしまうのでSLは少し心配」と、これを念頭に置いてアタックを敢行。しかしアタックラップ1コーナーで「アンダーが強かった」ため続くAコーナーで「思いっきりフロントに荷重をかけてターンインしたらやりすぎてしまった」と、ここでわずかにタイムロス。それでも続く100Rからヘアピン、その後のテクニカルセクションでは本人も「まあベストでした」というアタックを見せ最終的には見事4番手のタイムをマーク、レースウィーク前から公言していた通り決勝2列目以内でのスタートポジションを確保することに成功。さらにその後の正式結果で#88 JLOCランボルギーニFG-3 (関口雄飛選手)が重量規定違反で失格となった為、triple a Vantage GT2は今シーズン最初の決勝スタートを3番手グリッドから切る事となった。

11' SUPER GT SERIES Round_2 / FSW
2011.04.30 (Sta) Qualify & Super Lap
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED



Race Report

29 April - 01 May 2011 / SUPER GT SERIES Round_2 FUJI SPEED WAY



triple a Vantage GT2、 悪天候に足元をすくわれ、無念のリタイヤ

【決勝】 2011.05.01 (Sun)

悪天候がもたらしたまさかの展開 triple a Vantage GT2、開幕戦は無念のリタイヤ

■決勝 【天候】 雨 【コース】 ウェット 【気温】 13℃ 【路面温度】 14℃

事前の天気予報が的中し、金曜日、土曜日のドライコンディションから一転、朝10時頃から降り出した雨が路面を濡らすウェットコンディションとなった決勝日の富士スピードウェイ。この雨は時折強さを増し、ウェットコンディションという括りの中でも路面状況が刻一刻と変化していく難しいコンディション。さらに向かい風となったメインストレートでは時折突風とも言える強風が吹く瞬間もあり、朝のフリー走行ではメインストレート後1コーナーのブレーキングでコースオフを喫するマシンが続出する。それでもこのコンディションを物ともせず好調をキープしたのがtriple a Vantage GT2。コンディションがウェットへと変化してもその速さは衰える事はなく、このフリー走行ではパートナーの星野選手が2番手タイムをマーク。決勝での快走を期待させた。

当初は400kmレースの予定であったが、現社会情勢を考慮し300km (66周) に短縮され行われる事となった決勝レース。上空は13時頃からわずかに明るさを取り戻したものの結局雨が降り止むことはなく、各マシンはウェットコンディションのままのコース上ダミーグリッドにつく事となった。スタート前のグリッド上では各陣営が雨脚を睨みながらスタートで履くタイヤの選択やマシンの最終調整を行い、スタッフ、メカニックが忙しなく動き回る。その後スタート10分前には東日本大震災の被災者に向けた黙祷が捧げられ一時静寂に包まれたコース上。黙祷後にはドライバー代表として小暮選手が挨拶を行い、レースを戦うという緊張感の中にも、全てのレース関係者の胸には「レースを通じて今自分達に出来ることを」という共通の思いがあることを感じさせるセレモニーとなった。

そしていよいよスタート1分前。コース上の各マシンに一齐に火が入り13時58分にSC (セーフティーカー) 先導でのフォーメーションラップがスタート。水煙の中に各マシンのヘッドライトとテールランプの明かりが浮かび上がる。この時点でコース上はウェットコンディション、気温13℃、路面温度は14℃。この悪条件の為、1周目のSC先導を終えレース周回数のカウントダウンが始まったものの、先導のSCはそのまま2周目へと入っていく。するとここでそのコンディションの難しさを物語る光景が。何とSC先導中にも関わらず#11 JMGANER DXCEL DUNLOP 458 (平中克幸選手) が、1コーナーの先、コカコーラコーナーでスピン。これを目の当たりにした各マシンは、タイヤや路面状況の確認、更にはタイヤの熱を下げないようにマシンを左右に振りながら今か今かとスタートの時を待つ。その後SC先導は4周目まで続いたが、ここでいよいよSCのランプが消え5周目のメインストレートでついにレースがスタート。今シーズンの靴の幕が切って落とされた。しかしこの直後、triple a Vantage GT2にとっては思いもよらない展開が待ち受けていた。

スタート前のグリッド上、ASPEED陣営は他陣営で通常雨量の多いときに使用するレインタイヤに履き換えていたマシンがいることも確認していたものの、「スタート後に雨量は下がる」と予想しインターミディエイト (浅溝) でのスタートを選択。ところが結果としてこの選択が完全に裏目に出ることになってしまう。吉本はスタート周のヘアピンで#27 PACIFIC NAC イカ娘 フェラーリに並びかけたものの、この時点でインターミディエイトのタイヤでは雨量が多すぎたか、アクアブレーキングでマシンの挙動を乱しスピン。大幅にポジションを落とすことになると、さらに今度はフロントガラスが曇り始め、ウェットコンディションでの視界の悪さに拍車がかかる事に。

予選までの好調ムードから一転、悪天候がもたらしたまさかの展開。この流れは結局このレースの全てを飲み込む事となり、最後は「1コーナーの先で500クラスのマシンにラインを譲ろうとしたら突然…」と、またしてもアクアブレーキングに見舞われ今度は左フロントからタイヤバリアにクラッシュ。幸いドライブしていた吉本に大きな怪我はなかったものの、triple a Vantage GT2はここでレースを終える事になってしまった。レース後、吉本は「応援して下さった皆さんに申し訳ない…。この借りは3週間後の岡山で必ず返します」とコメント。予選、決勝日のフリー走行で見せた速さは2年目の進化を確実に感じさせる内容であっただけに、第1戦の順延戦となる岡山ラウンドでは気持ちも新たにシリーズチャンピオンへの流れを引き戻す巻き返しを期待される。

PERSONAL SPONSORS

PARTNERS

Hiroki Yoshimoto Official Report

No. 110506143-4



www.hiroki-yoshimoto.com

Race Report

29 April - 01 May 2011 / SUPER GT SERIES Round_2 FUJI SPEED WAY

【吉本大樹コメント】

レース界全体が長らくレースから遠ざかっていて、久しぶりに行われたレース。「がんばろう!日本」のスローガンの下、自分としてもチームとしてもとても気合いが入っていました。

新たなパートナーとなった星野一樹選手も限られた時間の中で最高のパフォーマンスを見せてくれ、チームとしても2010年を上回るマシンにすべく力を振り絞ってくれました。自分としてもスーパーラップまでは順調にいらしていたのですが、決勝の雨をうまくまとめることができませんでした。

スタート時のコンディションを無視してインターミディエイトを覆いでスタートしたという攻めの姿勢に後悔はありませんが、「必ずコンディションは良くなる」という『思い込み』と、いつクラッシュしてもおかしくない状況の中、レインタイヤへ交換しなかった『諦めが悪かった事』が今回の大きな失敗です。チームからは「交換するか?」と無線での確認はあったものの1周目で既にポジションを落としていたことから勝負権を完全に失うことが怖かったことで無駄な意地を見せてしまいました。自分のミスです。

今回応援して下さいましたファンの皆さん、チーム、星野選手には申し訳ない気持ちです。次の岡山で必ずこの借りをお返ししたいと思います。



Photo

29 April - 01 May 2011 / SUPER GT SERIES Round_2 FUJI SPEED WAY



PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PLAT2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

HY Management Co., Ltd.
info@hy-management.com
www.hiroki-yoshimoto.com